

大室山

小室山

市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

〈写真は見開きでござん下さい〉

温

故

知

新

～伊東市制施行70周年～

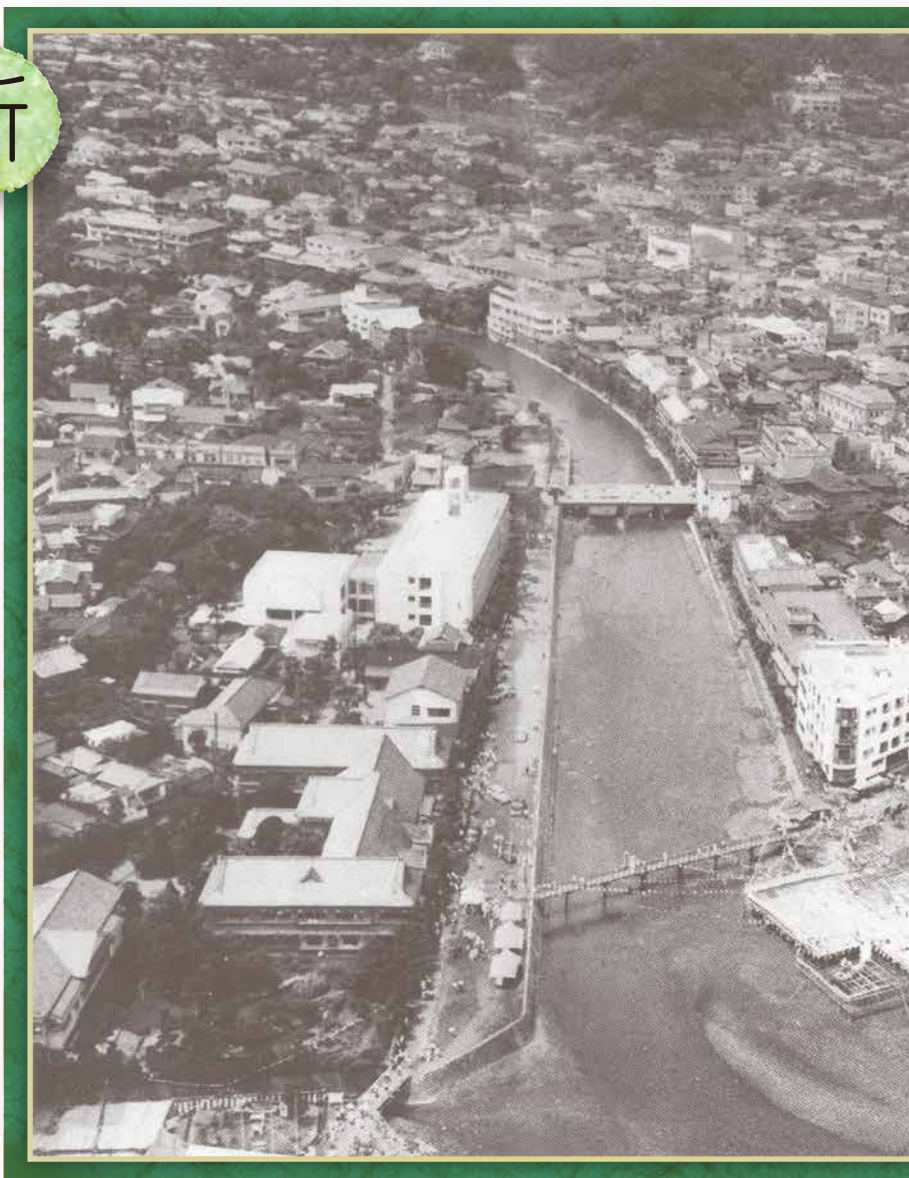
むかし いま あした
過去、現在、そしてまだ見ぬ未来へ



按針メモリアルパーク／ウィリアム・アダムス（三浦按針）の胸像とサン・フェナ・ヴェンツラ号のモニュメント



なぎさ公園／市制30周年記念モニュメント「家族」をはじめ、彫刻家 重岡建治氏の作品を展示



主な内容

70
伊東市制施行70周年

- 6月定例会の概要【P. 2】
- 市長所信表明に対する質問【P. 5】
- 常任委員会だより【P.10】



観光地伊東のシンボル・オレンジビーチ



平成29年 6 月定例会

41件の議案等を可決

6 月定例会を 6 月 12 日から 7 月 4 日までの 23 日間の会期で開会しました。

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第 1 号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部改正に伴う条例改正について平成29年 3 月 31 日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第 2 号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部改正に伴う条例改正について平成29年 3 月 31 日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第 3 号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法施行令の一部改正に伴う条例改正について平成29年 3 月 31 日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第 4 号	平成29年度伊東市一般会計補正予算(第 1 号)専決処分の報告承認について	伊東市選出の県議会議員が辞職したことに伴い、県議会議員補欠選挙を実施する必要があるため、同選挙経費に係る 1,260 万 1,000 円の追加補正措置を平成29年 5 月 22 日に専決処分したことについての報告	市長	全会一致で承認
市報第 1 号	平成28年度伊東市一般会計予算繰越明許費繰越し報告について	平成28年 12 月定例会及び平成29年 3 月定例会において議決された繰越明許費のとおり、臨時福祉給付金給付事業や本市独自の地域経済活性化対策など、16 事業、5 億 9,587 万 8,000 円を平成28年度から平成29年度に繰り越したことについての報告	市長	(質疑のみで採決なし)
市報第 2 号	平成28年度伊東市一般会計予算事故繰越し報告について	都市計画道路伊東大仁線改良事業は、用地交渉のおくれから、平成28年 3 月定例会において繰越明許費として議決されたが、地権者の移転先となる建物の計画変更等により建設におくれが生じ、これに伴い、補償対象物件の撤去についてもおくれが生じ、年度内の執行完了が見込めなくなったことから平成29年度に繰り越したことについて、地方自治法に基づく報告	市長	(質疑のみで採決なし)
市報第 3 号	平成28年度伊東市競輪事業特別会計予算について弾力条項の適用に関する報告	平成28年度競輪事業特別会計において、車券売上が好調に推移し、第13回市営競輪における勝者投票払戻金などの売り上げ連動経費に予算額の不足を生じたため、1 億 8,257 万 5,000 円を地方自治法及び伊東市特別会計条例の規定に基づき、平成29年 3 月 28 日に弾力条項を適用したことについての報告	市長	(質疑のみで採決なし)
市議第 1 号	伊東市個人情報保護条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律において、独自利用事務に関し、その特定個人情報提供等について整備等が行われたことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第 2 号	伊東市職員等退職手当支給条例の一部を改正する条例	雇用保険法等の一部を改正する法律において、国家公務員退職手当法が改正されたことに伴い、失業者の退職手当の所定給付日数延長の要件を拡大するとともに、退職手当に付加して支給されるもののうち、移転費の支給対象者を拡大する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第 3 号	伊東市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、地方公務員の育児休業等に関する法律第 2 条第 1 項ただし書の条例で定める特別の事情、育児休業の期間の再度の延長ができる特別の事情及び育児短時間勤務の終了の日の翌日から起算して 1 年を経過しない場合に育児短時間勤務をすることができる特別の事情として、保育所等における保育の利用を希望し、申し込みを行っているが、当面その実施が行われないことを規定するもの	市長	全会一致で可決
市議第 4 号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律の公布に伴い、個人市民税においては、現行の控除対象配偶者を、同一生計配偶者に改め、固定資産税においては、家庭的保育事業等に供する固定資産に係る課税標準の特例措置にわがまち特例を導入するとともに、企業主導型保育事業に係る固定資産、市民緑地の用に供する土地に係る課税標準の特例措置にわがまち特例を導入する条例改正	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第5号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例	地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律の公布に伴い、企業主導型保育事業に係る固定資産、市民緑地の用に供する土地に係る課税標準の特例措置を導入するとともに項ずれ等を整理する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第6号	伊東市が管理する市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例	道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部改正に伴い、標識番号のずれ等による用語整理、警戒標識板の高さを定める条例改正	市長	全会一致で可決
市議第7号	伊東市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令の公布に伴い、補償基礎額について、非常勤消防団員に扶養親族がある場合の加算額を改定する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第8号	伊東市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて	農業委員会等に関する法律において、委員の過半数を認定農業者等が占めることとされているが、本市においては認定農業者等の数が少なく、当該規定を適用しても委員の任命に著しい困難を生じることとなるため、農業委員会等に関する法律施行規則の規定により、認定農業者等またはこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて議会の同意を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第9号	平成29年度伊東市一般会計補正予算(第2号)	伊豆栄光富戸保育園及び伊豆栄光湯川保育園の施設改修に対する補助金、市制施行70周年記念事業である花でおもてなし事業に係る委託料、本郷公園隣接地の購入費、育英奨学金の申請者が見込みを上回ったことによる貸付金の追加など、2,586万7,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第10号 ☞ 討論	伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	本市の重要施策を担う部長級ポストとして、「市長戦略監」を創設することに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第11号	伊東市功労者表彰について	佃 弘巳氏(宇佐美)	市長	賛成多数で可決
市議第12号	伊東市功労者表彰について	海野英夫氏(松原)	市長	全会一致で可決
市選第1号	副市長選任の同意について	若山 克氏(荻)	市長	全会一致で選任に同意
市選第2号	副市長選任の同意について	佐野博之氏(静岡市葵区)	市長	全会一致で選任に同意
市選第3号	固定資産評価員選任の同意について	若山 克氏(荻)	市長	全会一致で選任に同意
市選第4号 市選第17号	農業委員会委員任命の同意について	農業委員会委員の選出方法が、公選制から市議会の同意を得て任命する方法に改められたことから、農業委員会委員14人の任命の同意を求めるもの 秋藤俊夫氏(池)、伊藤賢二氏(富戸)、伊代野裕二氏(吉田)、遠藤裕子氏(岡)、太田 宏氏(八幡野)、長田直己氏(赤沢)、北川佳延氏(鎌田)、黒岩秀雄氏(玖須美元和田)、佐々木逸夫氏(宇佐美)、土屋光枝氏(荻)、中村隆史氏(鎌田)、堀井裕三氏(湯田町)、青木敬博氏(荻)、浅田良弘氏(宮川町)	市長	全会一致で選任に同意
発議第1号	前正副議長に感謝状の贈呈について	宮崎雅薫前議長及び横沢勇前副議長の在任中の功績に対する感謝状の贈呈	議員7名	全会一致で可決
発議第2号	伊豆高原メガソーラーパーク発電所(仮称)建設計画等伊東市における太陽光発電所建設に伴う開発行為に対する反対決議	決議文は9ページをご覧ください。	議員7名	全会一致で可決
発選第1号	常任委員会委員の補欠選任について	常任観光建設委員会委員に犬飼このり議員を、常任福祉文教委員会委員に大川勝弘議員をそれぞれ選任	—	全会一致で選任
発選第2号	議会運営委員会委員の補欠選任について	山口嘉昭議員を選任	—	全会一致で選任
発選第3号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙	有効投票19票のうち、横山紘一郎氏 14票、内田隆典氏 5票、渥美 誠氏 0票、内田 隆氏 0票	—	—

本会議で行われた
討論の概要

市議第一〇号

【賛成】伊東新時代。

市長戦略監の新設については、新時代の市政運営を考える中で不安や矛盾等も感じることから、もう手を挙げての賛成とは言えない。しかし、多くの市民が小野市長による新たな市政運営に期待を寄せていることを考慮し、今後、その役割や責任の所在を議会や市民にもわかりやすくしていただくことを要望し、賛成する。

【賛成】日本共産党

市長戦略監を生かすためには、何が優先すべき公約なのか、まずまちづくりや産業の中長期的なビジョンを再構築する議論が必要ではないか。その上でともに活動する施策ごとのプロジェクトチームなど、効果的な組織づくりも必要と考える。

以上の意見を添えて、賛成する。

市長所信表明

～小野達也新市長が市政を担うに当たっての大きな3本柱～



所信表明を述べる
小野達也市長

市制施行七〇周年の記念すべき年に市政のかじ取りを担うに当たり、伊東の魅力を発信し、文化力を高め、観光の振興と産業の育成によって、みんなが夢を形にできる未来を拓くための主要な施策について、大きな三つの柱ごとに申し述べる。

■みんながつくる伊東市

まちづくりの主役は、まさに「市民の皆様」である。若い世代や移住者、伝統文化を継承、推進している方々の声を私が直接出向いて聞き、市政に生かすため、「未来ビジョン会議」と「地域タウンミーティング」を設置し、ボトムアップ方式による市政運営を目指す。また、シニア世代が活躍できる社会参画の場を創設し、多くの世代が集える仕組みづくりを進めていく。

さらに、「滞在型リフレッシェリゾート」を南部地域に実現し、ストレスなど未病への対応として、自然や文化に触れ心身を癒す、新しい湯治場の形を創造する。

■みんなが楽しい伊東市

活力ある地域社会や心豊かな市民生活の実現に向け、観光振興や文化・スポーツの振興は欠かせないことから、入湯税の全てを観光に関連する事業の経費に充て、観光施策の充実を図る。

そのための施策の一つ目として、「にぎわいの創出」を図り、大勢の人々が交流し、にぎわうための施策を進めるとともに、観光客や市民が楽しく過ごすことのできる仕組みを構築する。

特に、伊東駅周辺の整備事業の推進に当たっては、私が先頭に立ち、課題の解決に向け努力していく。

また、メディアを活用した観光戦略として、ドラマや映画の誘致を行い、新たなシティプロモーションを展開していく。

さらに、消費拡大に向け、

六次産業化による魅力ある伊東ブランドの創出を図る。

二つ目に、「生涯スポーツのまち伊東」を目指し、長年の懸案であったナイター設備つきサッカー場の建設に向けた準備を初めとして、市民や来遊客がスポーツを楽しめる環境の整備を進めるとともに、スポーツツーリズムによる新たな誘客を推進する。

図書館・文化ホールの建設基本構想については、利用者ニーズに合った使いやすい施設となるよう、調査研究を進めていく。

■みんなが暮らす伊東市

市民の皆様が描く夢や希望を形にし、そして、次世代が誇りと自信の持てる郷土をつくり上げていくための施策の一つ目として、「子育て支援」の充実を図る。

就学前の一年間の保育園・幼稚園の保育料を全額公費負担とするとともに、医療費の無料化を高校卒業まで拡充する。また、県のおふじのくに地域少子化突破戦略応援事業を活用し、子

どもを産み育てやすい環境を整備するとともに通学費の補助なども進めていく。

二つ目に、移住・定住施策として、本市の魅力を発信するとともに、移住促進プログラムの構築や市内企業に就職した場合の育英奨学金返済全額免除制度の創設に向けた検討等を進める。

また、健康寿命を延ばすため、介護予防事業や生涯スポーツ等に参加しやすい仕組みを構築していく。

八幡野地区におけるメガソーラー建設計画について、私は、地元が反対している本計画については、地元と同じく反対の考えであり、事業者とも誠実に向き合う中で、地元の意向に沿うよう開発の見直しに向け、可能な限り努力していく。

結びに、夢と希望を形に「未来を拓き」、市民が主役の明るい伊東をつくり上げていくため、私みずからが先頭に立ち、全力で市政運営に当たっていく。

市長所信表明に対する質問

会派及び会派に所属していない議員から 6 議員が質問

～会派所属議員の人数に応じた持ち時間内で会派を代表して市長所信表明について質問～

(質問順に掲載)

健康寿命を延ばすための施策に関し、介護予防事業の具体的な施策について伺う



正風改革クラブ
井戸 清司 議員

介護予防は、介護保険の給付だけでなく、国民健康保険における診療報酬の削減などにも寄与するものであり、高齢化社会における制度運営の持続可能性を高める重要な施策の一つであると考えことから、具体的にどのような施策を考えているのか伺う。

市長
より楽しく介護予防に取り組めるよう、工夫を重ねながら充実を図る

介護予防事業については、体力の維持向上を目的として、健康体操リーダーが中心となって実施している健康体操クラブの充実を図っており、参加者数も年々増

加をしている状況である。また、平成二九年度からは、これまでのストレッチ中心の体操に加え、転倒防止等を目的とした筋力アップのメニューや、音楽や映像に合わせて楽しく運動機能等の改善ができる介護予防・健康増進システム機器の導入等、新たな取り組みを進めている。

今後についても、利用者の意見を伺い、参加者がより楽しく介護予防や健康増進に取り組めるよう、指導者を養成するとともに、工夫を重ねながら介護予防事業の充実を図り、健康寿命の延伸につなげていきたい。

生涯スポーツ及び生涯学習活動に参加しやすい仕組みの構築とは、どのようなことを考えているのか伺う

市長
高齢者に届きやすい情報発信などの工夫をすることにより、気軽に参加しやすい環境整備を進めていく

本市においては、六〇歳以上を対象に、スポーツから芸術文化活動に至るまで、幅広い分野で仲間との親睦を深めながら、生涯学習活動のきっかけづくりの場となるよう、「いでゆ大学」を開講している。また、一般市民向けの講座として実施している「市民大学」においても、近年では高齢者の受講も多く見受けられ、この世代の生涯学習への関心の高さをうかがうことができる。

生涯スポーツの分野においても、ゲートボール、グラウンドゴルフ等とともに、卓球などが高齢者の間で盛んに行われている。

しかしながら、これらの



いでゆ大学でグラウンドゴルフを楽しむ受講生

活動に関し、十分な情報提供がなされていない状況にあることから、高齢者に届きやすい情報発信などの工夫をすることにより、気軽に生涯学習活動及び生涯スポーツに参加しやすい環境整備を進めていく。

「未来ビジョン会議」について、メンバー構成及び具体的に何年後を見据えた将来像を描くのか伺う

市長
未来ビジョン会議の構成員については、検討を進めているところであるが、産業、文化、体育などに関連する団体における青年部等の代表や移住者、子育て世代の女性、若手の市職員など、一五人程度による構成を想定している。

また、若い世代等の新たな視点からの意見やアイデアを政策の推進などに反映させることを目的に設置するものであり、一概に市全体の将来像をテーマに協議していくということではな

く、市が推進する重点施策などの個別の事案をテーマとして、協議、検討を進めていくことを考えている。

「地域タウンミーティング」の設置について伺う

市長

地域タウンミーティング

については、私みずから地域を訪れ、より多くの地域住民の皆さんの生の声を伺うことにより、世論の動向を正しく把握し、市政に反映させることを目的に開催するものである。

年間の開催頻度については、調整中ではあるが、七月下旬から九月下旬にかけて、市内一五地区を対象に一〇会場程度の開催で準備を進めている。

市側の出席者については、私を初め、副市長、市長戦略監等を予定している。

『その他の質問』 六項目



入湯税の全てを観光に関する事業の経費に充てることについて伺う



自民・絆
中島弘道議員

観光業の活性化のために、入湯税は本来の観光に関する事業の経費に充てることが望ましいと思うが、これまで入湯税が充当されていたその他の事業に影響を及ぼすと思われることから、不足する財源について、どのように手当てしていくのか伺う。

市長

一般財源を充てていくことになるが、既存事業の見直しを行うことで確保を図る

入湯税は、地方税法の規定により、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに、観光施設の整備を含む観光

の振興に要する経費などに充てることとされている。これまで、環境美化センター等の環境衛生施設の管理経費、救急事業や消防施設の整備経費、観光振興経費や観光施設の維持管理事業などに充当してきた。

入湯税の全てを観光に関する事業の経費に充てることにより、これまで入湯税が充当されていた事業の財源に一般財源を充てていくことになるが、既存事業のスクラップ・アンド・ビルドの徹底及び新年度予算編成において優先順位による事業の峻別を行うことで、財源の確保を図りたい。

社会体育施設の利用について、市外の方の利便性とスポーツツーリズムによる誘客対策について考えを伺う

市長

平日の比較的予約の少ない時期に開催される各種大会の誘致などにより誘客を進めていきたい

社会体育施設については、市民の健康増進やスポーツ

振興を目的とした施設であることから、市民優先となつていくことは認識している。また、小室山総合グ

ラウンドやテニスコートは市外の方も市民と同様の条件で予約、利用ができる。

このような中、スポーツツーリズムによる誘客対策を推進するに当たり、全国還暦野球大会など、平日の比較的予約の少ない時期に開催される各種大会の誘致や、市内に四施設あるゴルフ場を活用した誘客イベントなどを実施することにより、スポーツツーリズムによる誘客を進めていきたいと考えている。

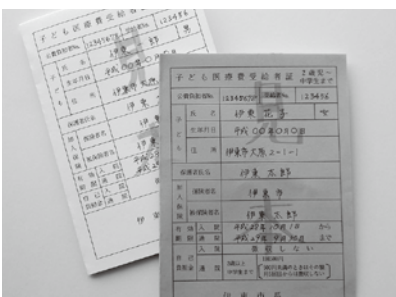
また、長年の懸案であった、ナイター設備つきサッカー場の建設に向けた準備を進めるとともに合宿等で市外の方の需要が高い室内体育施設の建設についても検討していく中で、積極的にスポーツによる誘客を進めていきたい。

医療費の無料化を高校卒業まで拡充することによる費用の見込み額とその財源及び実施の見通しを伺う

市長

実施した場合、約三五〇〇万円が上乗せされると試算している。財源については、既存事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底する中で財源の確保を図るとともに、県に対しては少子化対策を推進する観点から当該事業に対する補助制度の拡充を働きかけていく。また、実施の見通しについては、今後の財源確保の状況に応じて拡充を検討していく。

『その他の質問』 八項目



子供の医療費助成を拡大
(写真は現・子ども医療費受給者証)

育英奨学金返済全額免除制度について伺う

民進クラブ
四宮和彦議員

市内企業に就職した場合の育英奨学金返済全額免除制度については、現行の半額免除制度を維持しつつこれに制度追加するものなのか、制度の内容を伺う。

市長 現行制度の方向性を維持した上で、市内就労をした場合に全額免除とすることに、先進事例を参考に調査研究を進めていく

本市の奨学金制度については、奨学金月額の増額、入学一時金や市内居住を要件とした半額免除制度の創設など、大幅な改革を行ったところである。全額免除制度は現行制度の方向性を維持した上で、なおかつ市内就労をした場合に全額を

免除することについて検討していく。

内容については、先進事例を参考に調査研究を進め、市内企業への就職を初め、起業や第一次産業への就労等の要件などを幅広く検討した上で、その財源等、具体的な制度設計を進める。

市長が考える「にぎわい」の定義及び地域がにぎわうための施策を伺う**市長**

私が考える「にぎわい」の定義は、ただ単に人が多く集まるということではなく、人と人が接すること、いわば市民と観光客が交流することで生まれる共感や信頼感などであると考えている。

また、施策については、松川沿いのリエティ広場から川口公園にかけてブーゲンビリアを植栽することで、市民や観光客が「きれいだな」と共感し、また、按針メモリアルパークステージでは心地よい潮風を感じてもらおうなど、市民と観光客

が感覚を共有できるスポットを整備していくことであると考えている。

「にぎわいの創出」は地域振興にどのように寄与するか伺う**市長**

にぎわいを創出するということは、市民と観光客が交流する場をつくることであり、その交流の中で共感や信頼感が生まれ、市民しか知らない「美味しい飲食店」や「コアな観光情報」などを提供することにより、観光客の購買意欲を高めることにつながることも、市民のおもてなしの心の醸成が、地域振興に寄与していくものと考えている。

『その他の質問』二四項目

ブーゲンビリアが植栽された松川沿い

滞在型リフレッシュリゾート構想について伺う

公明党
長沢正議員

滞在型リフレッシュリゾートを南部地域に実現することであるが、その概要及び実現の目標とする時期について伺う。

市長

新たにリゾート開発を行うものではなく、既存の観光資源を活用し、官民協働による新たな旅行形態を構築していくものである。

目指している滞在型リフレッシュリゾートとは、観光客の皆様に、心にゆとりを持って市内に連泊していただき、芸術鑑賞やさまざまな体験プログラムを通じて、心と体を癒すことのできる、新しい湯治場としての健康保養地の構築である。市内南部地域では伊豆高原地区を中心に、美術館な

どを初め、芸術鑑賞やさまざまな体験を通じ、心身ともにリフレッシュすることができるとする環境が整っている。これらの各種体験施設などと連携を図り、多様な観光ニーズに対応できる体験プログラムなどを活用することを実現していく。

実現の目標としては、各施設との協働により、既に実施されている体験プログラムなどから集中と選択をする中で、直ちにできる事業から順次、進めていくとともに、PDCAマネジメントサイクルにより、事業検証を図ることで、観光客のニーズにマッチした現代の湯治場を創出していきたいと考えている。

『その他の質問』七項目

新しい湯治場としての健康保養地の構築

八幡野地区におけるメガソーラー建設計画について、以下二点伺う



日本共産党
重岡 秀子 議員

一 市民生活や観光振興などに大きな影響を及ぼす全市的課題として、同建設計画にかかわる問題をどのように捉えているのか伺う。

二 開発の見直しに向け、可能な限り努力することのことだが、本市として取り得る対応は具体的にはどのようなことか伺う。

市長

一 この建設計画については、地元の声を直接聞く中で「住民や漁業者などの利益が損なわれる」とした意見が多くあること、地域と良好なコミュニケーションが図られていないことのほか、森林伐



伊豆高原メガソーラーパーク発電所(仮称)
建設予定地の山並み

『その他の質問』 五項目

採による斜面の安全性や、売電期間終了後における施設の維持管理など、さまざまな問題点があることを認識している。

二 本市として取り得る対応については、六月中に事業者に対して、白紙撤回を求めていく。

白紙撤回が困難な場合には、大規模開発による、地元住民の不安を取り除くためにも、地元の同意を得ることを第一に、県とも連携を図る中で、自然環境の保全に配慮し、景観との調和を図るなどの計画の見直しを事業者へ働きかけていく所存である。

図書館・文化ホールの建設基本構想について、どのような構想を検討しているのか伺う



伊東新時代。
犬飼 このり 議員

図書館・文化ホールについては、さまざまな施設が考えられるが、スポーツと同様に、文化芸術ツーリズムまたは合宿やリハースルを伴う公演等に対応できれば、観光業とも連携が図れる。また、公演の前後にプロのアーティストとのワークショップ等を企画することで、市民の文化力向上にもつながることから、文化振興の拠点として、どのような構想を検討していくのか伺う。

市長

図書館を併設した生涯学習センター中央会館及び観光会館については老朽化も



伊東市観光会館

『その他の質問』 六項目

進んでいる。また、市民満足度調査における建てかえの必要性に関する調査結果で、両施設ともに高い位置づけとなるなど市民の関心の高さもうかがえ、平成二八年度には文化施設整備基金も設置したところである。

今年度、図書館・文化ホールの建設に向け基本構想を策定していくが、建設候補地とともに、どのような施設がふさわしいかなど、幅広く勘案する中で、基本構想を策定していく。

あわせて、文化協会を初めとした関係団体、さらには未来ビジョン会議や地域タウンミーティングなどを通じて、広く市民の意見を伺う中で、本市にふさわしい文化振興拠点となる施設としていきたい。

9月定例会の予定

9月4日(月)
開 会

※日程等は、8月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。

閉会中の議会活動

平成29年

※平成29年3月定例会閉会後、
平成29年6月定例会開会まで



4月19日 議会報編集委員会
4月25日 常任観光建設委員会協議会
4月28日 常任総務委員会協議会
5月12日 常任福祉文教委員会協議会
5月25~26日 新議員行政研究会
6月6日 議会運営委員会

伊豆高原メガソーラーパーク発電所(仮称)建設計画等 伊東市における太陽光発電所建設に伴う開発行為に対する反対決議

私たちのまち伊東は、天城の山々を背に、相模湾に臨む伊豆半島の東海岸に位置し、城ヶ崎海岸、一碧湖、大室山とその火山活動により形成された高原地域等の自然景観、良質な温泉を生かした情緒豊かな湯のまち景観、にぎわいのある市街地景観などが織りなす観光都市である。

そのような貴重な自然に恵まれた本市において、太陽光発電所が、既に各地に建設されており、また八幡野区においては、現在約50haにも及ぶ林地開発行為を伴う巨大なメガソーラー発電所建設が計画されている。伊豆高原メガソーラーパーク発電所(仮称)は、広大な森林・草地を伐採し太陽光パネルにかえてしまうため、保水力の低下による土砂災害の発生リスクが高まる。雨が降れば泥水が八幡野川に流れ込み、有数のダイビングスポットである八幡野の海を汚し、漁業とともに観光産業にも大きな打撃を与えることが懸念される。

太陽光パネルに覆われた土地の周囲は、その反射光のためにアスファルトやコンクリートで覆われた都会以上に温度が上昇し、深刻なヒートアイランド化が進行すると言われており、伊豆高原の冷涼な気候を大きく変えてしまうおそれがある。また、森林・草地の開発で、ここに生息する動植物の生息環境へも深刻な影響をもたらす可能性がある。その結果、多くの動物(猿、イノシシ、鹿など)が人里へ侵入することで、有害鳥獣による農作物への被害等も懸念され、私たちとの対立をもたらすことになるかもしれない。また、ジオサイトに近接するこの地域での大規模な開発行為は、現在、伊豆半島全体で目指す伊豆半島ジオパークの世界認定にも大きな影響を与えかねない。

このような自然環境の破壊に対する地域住民及び地域事業者の不安の高まりから、メガソーラー事業計画地近隣の地区や自治会などでは反対声明が出されている。また、メガソーラー建設に反対する複数の市民グループは署名活動を行い、現在、合計で25,000筆余を集めている。

みずからが住み、働く地域がいかにあるべきかは、地域住民の自己決定権に委ねられるべきものであり、住民自治の基本である。これだけ多くの地域住民、地域事業者たちの抱える不安が払拭されないままに、市内各地に太陽光発電所建設が無秩序に行われていくのであれば、市民の代表によって構成される議決機関である市議会としては、これを看過できるものではない。

伊東市議会としては、地域住民の自己決定権を尊重し、それが住民の総意である限り、住民の自治権を侵害する大規模開発行為に対しては断固として反対する。

以上、決議する。

平成29年7月4日

伊 東 市 議 会

■ 決議までの経緯

八幡野地区において建設計画がある太陽光発電施設は大規模な森林開発を伴うもので、景観だけでなく、土砂災害や海洋環境の悪化等さまざまな影響が懸念されることから地元住民の不安が高まり、複数の市民団体が建設反対の署名活動をするに至っています。

この状況を議員一人一人が重く受け止め、市議会全体として、住民の意思に反する大規模開発行為に対するの意思表明ができないか検討してきました。

まず、六月六日の議会運営委員会で建設反対の決議をしていくことに向けて調整を開始。六月三〇日に当該事業者との会派を超えた議員有志による勉強会を開催するなど、議員間で協議を続け、七月三日の議会運営委員会で議案となる決議文を決定。最終日の本会議において採決の結果、全会一致で可決しました。

新議員行政研究会

今後議員活動を行う上において必要となる基礎的事項に関し理解を深めていただくため、初当選した議員を対象に、議員行政研究会を実施しました。

五月二五日

■ 執行機関の概要説明

■ 市内各施設の視察

伊東市学校給食センター
市民体育センター
富士見保育園・さくら園
伊東市健康福祉センター

五月二六日

■ 議事機関の概要説明



学校給食センターの概要説明を受ける新議員

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、八月下旬発行予定の六月定例会会議録の委員会審査報告をのぞいてください。

総務委員会

問 新たに設置される市長戦略監の職務について伺う。

答 市長の公約実現に向けて特定の課題について各部署の調整を担うこととし、サッカー場や図書館・文化ホール建設に係る業務などを専任する。

また、設置規則において、市長の命を受けて行う特定事項を職務と規定しており、その時々で市長が注力すべきと判断した事業等において、市長戦略監の担う重要施策を決めていく。



市長の公約実現のため
各部署の調整を図る

観光建設委員会

問 本郷公園の隣接地購入について、その意図や経緯を伺う。

答 もともと本郷公園は、条例で望ましいとされる面積よりも狭く、以前より地域防災の観点から住民要望があった経緯を踏まえ、予算計上するに至った。



本郷公園

問 観光宣伝補助事業の観光プロモーション映像の配信方法について伺う。

答 本市出身の映画監督が撮影し、コロワイドグループのかっぱ寿司を含む五つの飲食店チェーンの注文用タッチパネル約四万台に映像を流し、誘客を図る。

福祉文教委員会

問 小学校屋内運動場照明設備LED化工事請負費の補正の経緯及びLED化未実施校について伺う。

答 南小学校体育館の水銀灯に不具合が散見され、修繕を要する状況であるが、水銀による被害を抑制する国際的な情勢に鑑み、LED照明への交換を実施することとした。

LED化未実施校は、大池小、池小、南中学校の三校であり、今後も順次LED化を進めていきたい。



屋内運動場の照明をLED照明へ交換

新議員紹介

市長選挙と同時に執行された市議会議員補欠選挙において、左記の二名が当選しました。（年齢は八月一日現在）



犬飼このり議員(46)

○住所 末広町
○会派 伊東新時代。
○所属委員会
常任観光建設委員会
議会報編集委員会

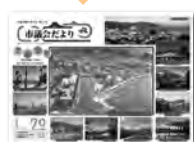


大川勝弘議員(36)

○住所 湯川
○会派 正風改革クラブ
○所属委員会
常任福祉文教委員会

表紙写真について

今号の表紙は、より大きな写真をごらんいただけるように、見開きページとなっています。



編集後記

表紙写真の昭和三二年当時、空撮といえば、ヘリコプターでの撮影だったかもしれませんが、現在ならばドローンでしょうか。翌年の三三年、狩野川台風で大被害を受けたものの、六〇年間で本市も人々の暮らしも発展してきました。

さて、写真の中心、松川沿いやオレンジビーチ沿いは、現在ブーゲンビリアで鮮やかに彩られています。花でおもてなしをと市制施行七〇周年記念の一環として、今年植栽されました。

この華やかな熱帯植物は、その場を一気に南国リゾート

市議会内の会派構成

正風改革クラブ



井戸清司(代表)



大川勝弘



山口嘉昭



佐山 正



土屋 進

自民・絆



中島弘道(代表)



青木敬博



稲葉富士憲



民進クラブ



四宮和彦(代表)



鈴木克政



浅田良弘

公明党



長沢 正(代表)



鳥居康子

H29.7.5現在

日本共産党



重岡秀子(代表)



佐藤龍彦

伊東新時代。



杉本一彦(代表)



犬飼このり

会派に所属していない議員



横沢 勇



稲葉正仁

議会内の異動

■五月二三日

会派結成

伊東新時代。

代表 杉本一彦議員

犬飼このり議員

■五月二四日

会派加入

大川勝弘議員Ⅱ正風改革

クラブ

■五月二五日

通称名使用許可

(通称名) 犬飼このり議員

(戸籍氏名) 岩本亜弓議員

※今後の議員活動において、通称名を使用します。

■五月二九日

会派代表者変更

民進クラブ

(新) 四宮和彦議員

(旧) 鈴木克政議員

■五月三一日

議員辞職

宮崎雅薫議員

■七月五日

会派離脱

稲葉正仁議員(自民・絆)

※会派に所属していない

議員となります。

いとう市議会だより 2017.9 No.174

【発行】伊東市議会 【議長】稲葉富士憲

【編集】議会報編集委員会

【伊東市議会事務局】伊東市大原二丁目1番1号

■TEL/0557-32-1981 ■FAX/0557-38-6916

■E-mail/gikai@city.ito.shizuoka.jp

■ホームページ/http://www.city.ito.shizuoka.jp

「いとう市議会だより」は再生紙を使用しています

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

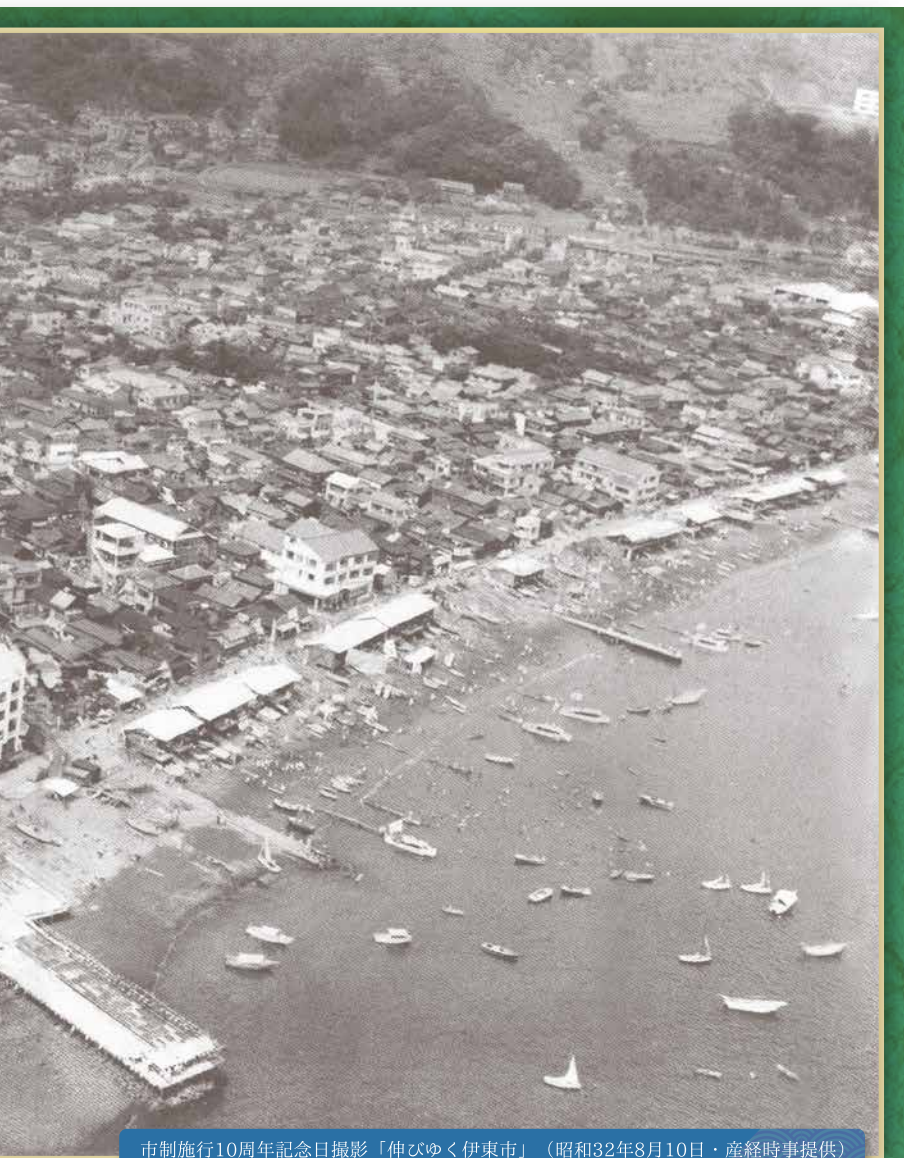
” ” ”
犬飼このり 佐藤龍彦 長沢 正 青木敬博 井戸清司 四宮和彦

議会報編集委員会

トの雰囲気になります。先輩格である夫婦ヤシ等とともに市民に親しまれ、また、市長所信表明にあった「滞在型リフレッシュリゾート」伊東を印象づける花木となることを期待します。



現市役所庁舎から市街地を望む



市制施行10周年記念日撮影「伸びゆく伊東市」（昭和32年8月10日・産経時事提供）
「絵はがき-伊東いまむかし」より



南国ムード漂う伊東の玄関口



温泉情緒だけでなく、ジオサイトの一面もある伊東温泉



大川橋から上流を望む



海風薫る渚橋



川口公園等が整備された渚橋から大川橋方面



藤の広場（旧市役所跡）と丘に見える現市役所庁舎